

女と女の真剣勝負

■キャスト

陽菜乃(ひなの)

心陽(こはる)

桔平(きつぺい)

■台本

公園のベンチ。ここには陽菜乃と心陽しかいない。

陽菜乃「……勝負よ」

心陽「いわよ、受けて立つ」

陽菜乃「ふふ。ほえ面かくなよ」

心陽「そっくりそのままお返しするわ」

陽菜乃「じゃあ、いくわよ。まずは……桔平(きつぺい)」

心陽「……おいおい。いきなりぶっこんでくるわね。いつの間……。まあ、いい。私も桔平だ」

陽菜乃「……やっぱり、あんたも。次、西園寺涼真(りょうま)くん」

心陽「……涼真くんか。なかなかやるな」

陽菜乃「ふっ……。まあね」

心陽「佐々木邦夫……」

陽菜乃「なっ!」

立ち上がる陽菜乃。

心陽「ふん。そう、ビビんないですよ。まあ、座りななっ!」

陽菜乃「くっ! (座る)」

陽菜乃「次は私ね。望月猛(たける)くん」

心陽「はあ!? ば、バカ! あなっ! 猛くんには夏帆がいるじゃない」

陽菜乃「だから、どうしたっ?」

心陽「……あなたも筋金入りね」

陽菜乃「引く理由なんてないでしょっ!」

心陽「確かに。さすが、私のライバルといったところね」

陽菜乃「さあ、次はあんたよ」

心陽「渡辺清吾……」

陽菜乃「ふん。まあ、無難なところだったわね」

心陽「私は男子を差別しない」

陽菜乃「……ふんっ。格好いい」と言っじゃない！じゃあ、私は菅野徹くんだ」

心陽「恭一」

陽菜乃「慎太(しんた)くん」

心陽「太陽」

陽菜乃「隆一くん」

心陽「青葉」

陽菜乃「穹(そら)くん」

心陽「詩恩(しおん)。……って、キリがないわね。同級生の男子は除こっ」

陽菜乃「そうね。じゃあ……私は……木下卓也くんだ」

心陽「木下卓也……？ 誰？」

陽菜乃「ほら、もも組のときの」

心陽「……ああ！ あの！ って、あんた、それ幼稚園のときの話じゃー！」

陽菜乃「男子を差別しない。それは年齢もじゃないの？」

心陽「くっ！ そ、そうね……。それじゃあ、私は若狭(わかさ)先生！」

陽菜乃「マジー！ 先生、いったのー！」

心陽「当然でしょ」

陽菜乃「やっぱ、あんたはスゲー。大した幼稚園児だよ」

心陽「次はあなたよ」

陽菜乃「……」

心陽「終わり？ なら、私の勝ちね」

陽菜乃「……いや、待って」

心陽「……なに？ いるなら早く言ってよ」

陽菜乃「……水無月(みなづき)………怜(れい)……」

心陽「な、なにっ！」

心陽が凄いい勢いで立ち上がったため、椅子が倒れる。

陽菜乃「……」

心陽「あなた……。冗談じゃ済まされないわよ」

陽菜乃「当たり前よ」

心陽「……そうか。いや、まごかとは思ってたけど……ホント、スゴイ。怜は確かに格好いい……」
陽菜乃「……」

心陽「女もか……」

陽菜乃「さあ、次はあんたよ」

心陽「くっ……」

陽菜乃「さすがにもういないようね。私の勝ち……」

心陽「……トラさん」

陽菜乃「なっ！ えっ！ 私のじいちゃんにっ！」

心陽「うるさい」

陽菜乃「あんたに分別はないのかよー！」

心陽「あなたに言われたくねーよー！」

そのとき、近づいてくる桔平。

桔平「あれ？ お前ら、何やってんの？ 喧嘩？」

陽菜乃「桔平は黙ってて。これは女と女の勝負なんだから」

桔平「はあ……。どうせ、また、くだらない勝負なんだろ。今日はなんの勝負してんだよ」

心陽「今までフラれた人の人数」

陽菜乃「多い方が勝ちってルール」

桔平「……それって、勝った方が、女として負けなんじゃないの？」

陽菜乃「……っ！？」

心陽「……っ！？」

終わり。